

Ⅲ 調査結果の分析

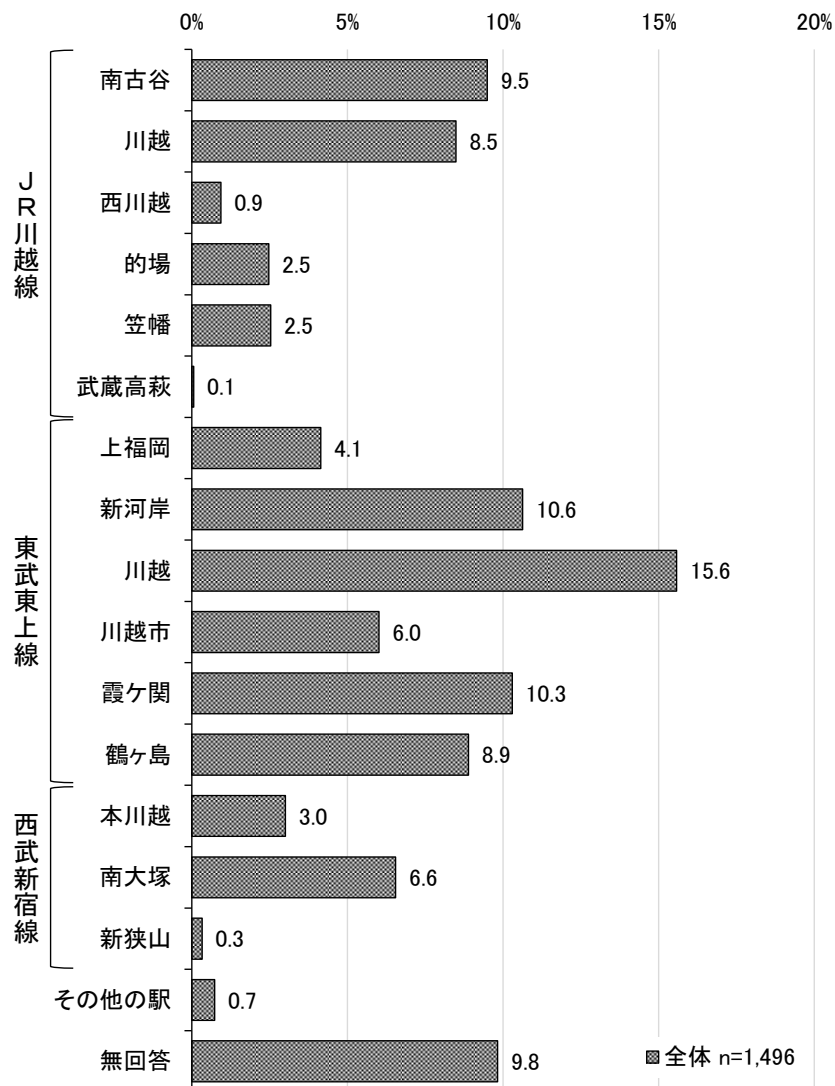
1 都市基盤・生活基盤について

(1) 主に利用する最寄りの駅

◇東武東上線「川越」が15.6%

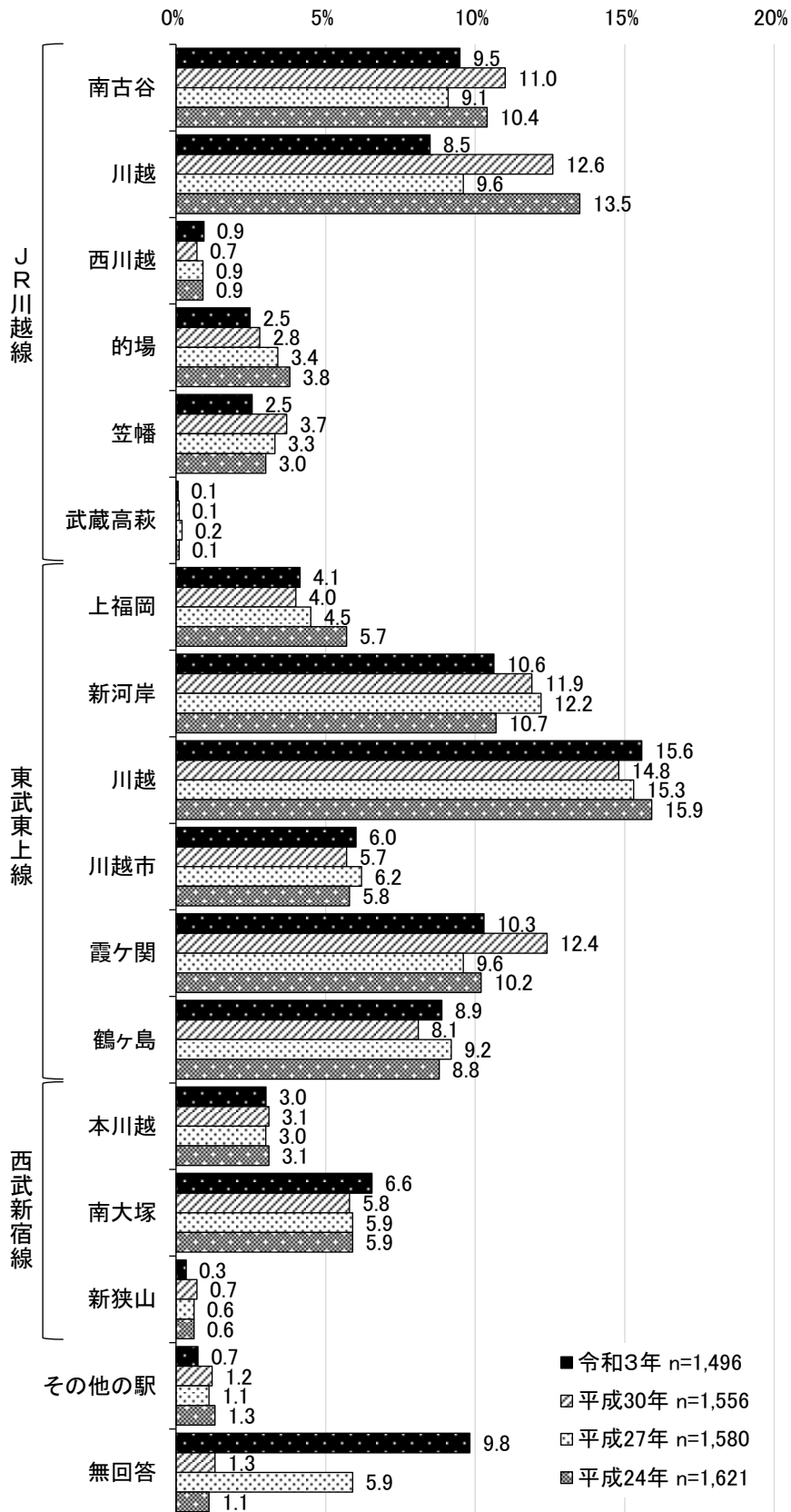
問1 あなたが主に利用する最寄りの駅はどこですか。(1つのみ)

主に利用する最寄り駅については、東武東上線「川越」が15.6%で最も高く、次いで東武東上線「新河岸」が10.6%、東武東上線「霞ヶ関」が10.3%、JR川越線「南古谷」が9.5%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、東武東上線「川越」は前回調査より0.8ポイント増加している。



■居住地区別（上位5位）

居住地区別に上位5位の項目をみると、東武東上線の利用率の高さがうかがえる結果となっており、『本庁地区』、『芳野地区』、『福原地区』、『山田地区』では「川越（東武東上線）」、『高階地区』では「新河岸」、『霞ヶ関地区』、『霞ヶ関北地区』では「霞ヶ関」、『川鶴地区』、『名細地区』では「鶴ヶ島」がそれぞれ1位となっている。

また、JR川越線をみると、『古谷地区』、『南古谷地区』で「南古谷」が、西武新宿線をみると『大東地区』で「南大塚」が1位となっている。

属性 \ 順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496	川越(東武東上線) 15.6%	新河岸 10.6%	霞ヶ関 10.3%	南古谷 9.5%	鶴ヶ島 8.9%
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	川越(東武東上線) 35.1%	川越市 20.6%	川越(JR川越線) 18.0%	本川越 7.6%	西川越 2.8%
芳野地区 n=41	川越(東武東上線) 36.6%	南古谷 22.0%	川越(JR川越線) 14.6%	本川越 9.8%	川越市 4.9%
古谷地区 n=58	南古谷 51.7%	川越(東武東上線) 17.2%	川越(JR川越線) 10.3%	上福岡／本川越 1.7%	
南古谷地区 n=135	南古谷 71.9%	新河岸 5.2%	上福岡 4.4%	川越(東武東上線) 3.7%	川越(JR川越線) 2.2%
高階地区 n=189	新河岸 66.7%	上福岡 24.3%	川越(JR川越線)／川越(東武東上線) 1.6%		南古谷 0.5%
福原地区 n=78	川越(東武東上線) 26.9%	新河岸 23.1%	川越(JR川越線) 16.7%	南大塚 9.0%	上福岡 3.8%
大東地区 n=139	南大塚 60.4%	川越(東武東上線) 20.9%	川越(JR川越線) 5.8%	新狭山 2.9%	西川越 1.4%
霞ヶ関地区 n=175	霞ヶ関 41.1%	笠幡 20.6%	的場 15.4%	鶴ヶ島 6.9%	川越(JR川越線) 1.7%
川鶴地区 n=75	鶴ヶ島 78.7%	霞ヶ関 5.3%	笠幡／川越市 2.7%		南大塚 1.3%
霞ヶ関北地区 n=48	霞ヶ関 68.8%	的場 16.7%	鶴ヶ島 8.3%	川越(東武東上線) 2.1%	同率で11項目 (※)下記参照 0.0%
名細地区 n=100	鶴ヶ島 56.0%	霞ヶ関 35.0%	川越市 2.2%	川越(JR川越線)／的場 1.0%	
山田地区 n=77	川越(東武東上線) 35.1%	川越(JR川越線) 20.8%	川越市 13.0%	本川越 11.7%	霞ヶ関 5.2%

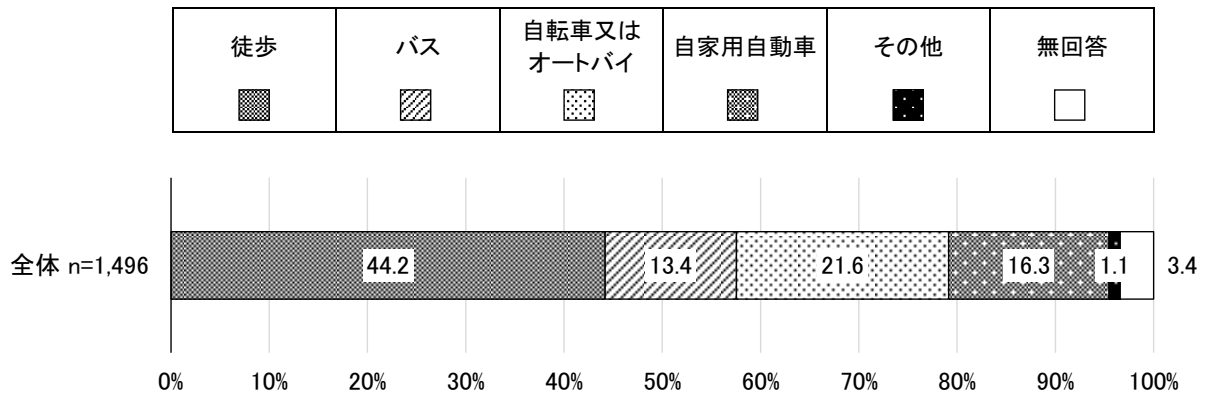
※霞ヶ関北地区の同率5位の11項目は、「南古谷／川越(JR川越線)／西川越／笠幡／武蔵高萩／上福岡／新河岸／川越市／本川越／南大塚／新狭山」となっている。

(2) 最寄りの駅への手段

◇「徒歩」が44.2%

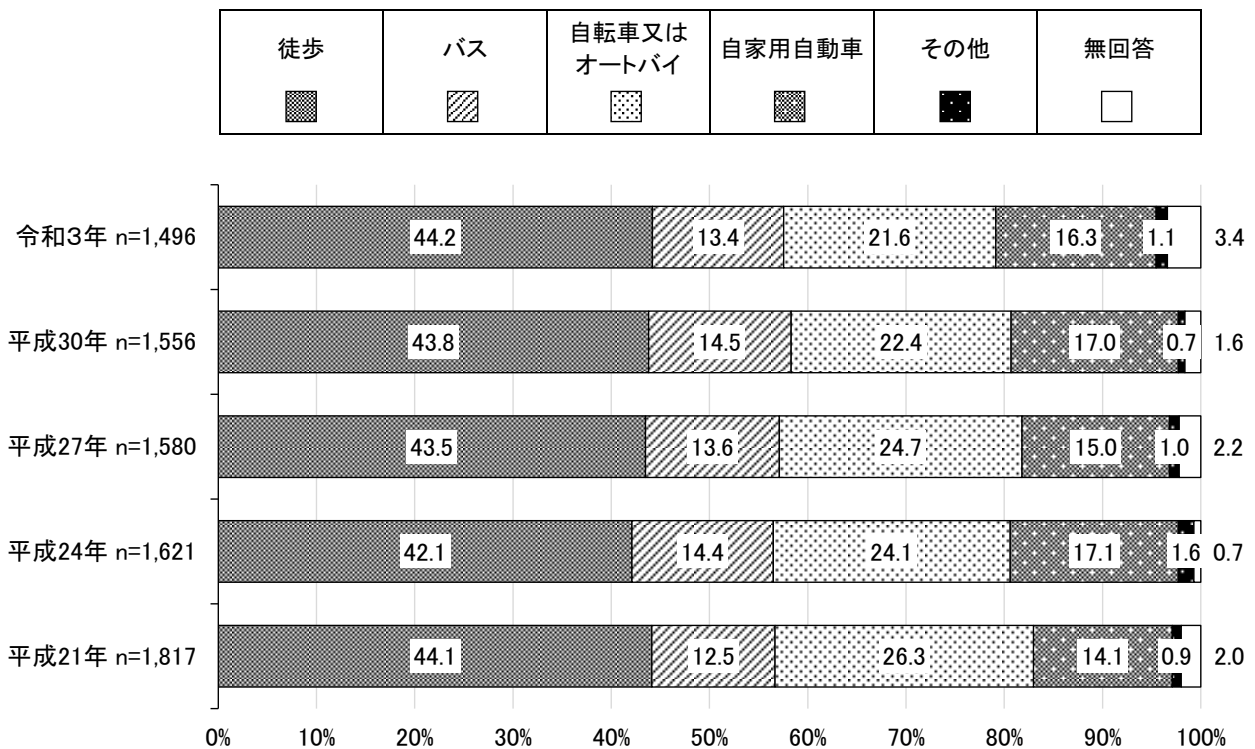
問2 あなたは、最寄りの駅へ主にどのような手段で行きますか。(1つのみ)

最寄りの駅への手段については、「徒歩」が44.2%で最も高く、次いで「自転車又はオートバイ」が21.6%、「自家用自動車」が16.3%、「バス」が13.4%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



■居住地区別

居住地区別でみると、「徒歩」では、『高階地区』が63.0%で最も高く、次いで『霞ヶ関北地区』が62.5%、『霞ヶ関地区』が56.6%となっている。

「バス」では、『山田地区』が48.1%で最も高く、次いで『川鶴地区』が40.0%、『福原地区』が34.6%となっている。

「自家用自動車」では、『芳野地区』が63.4%で最も高く、次いで『古谷地区』が36.2%、『山田地区』が32.5%となっている。

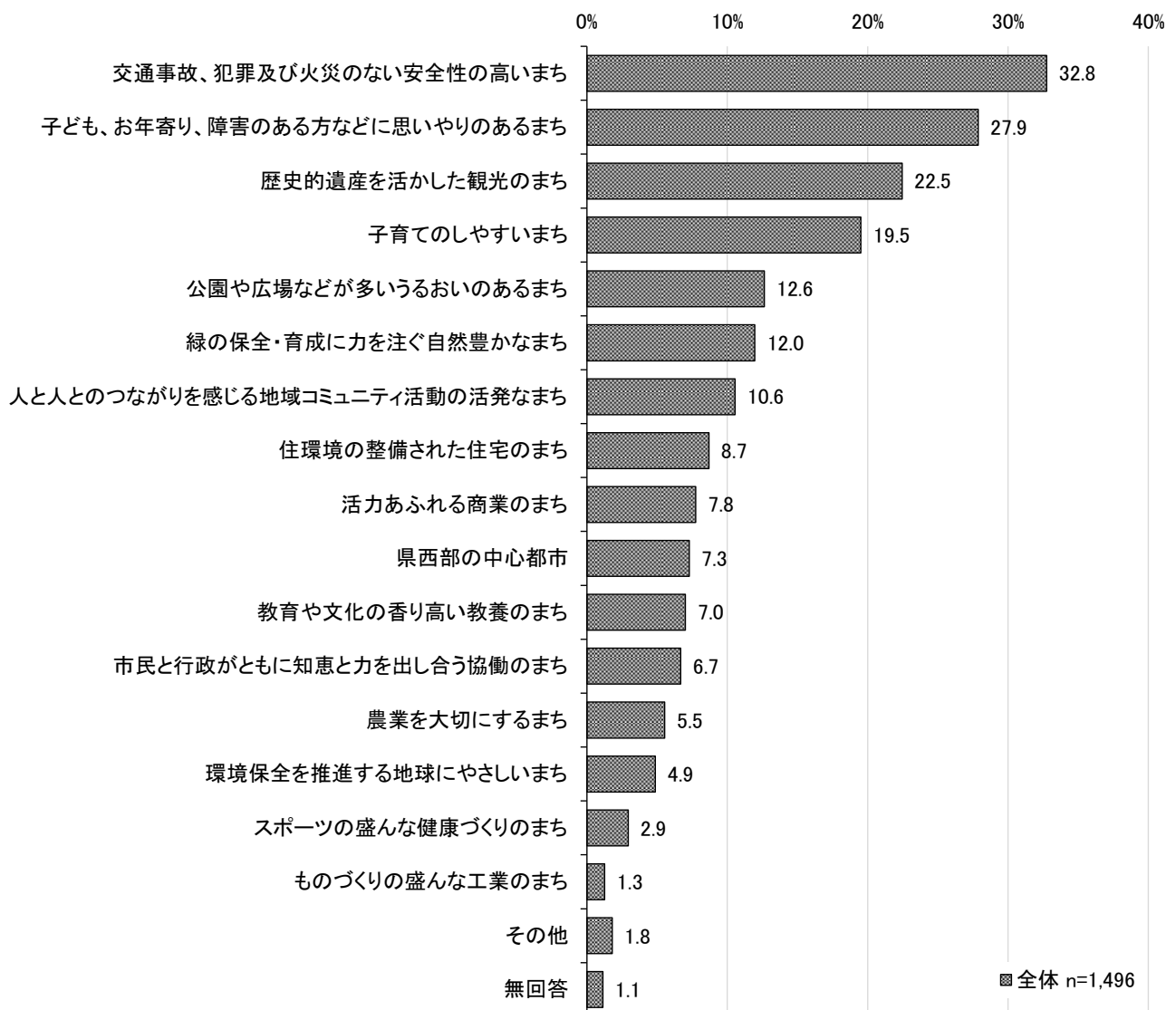
	徒歩	バス	自転車又は オートバイ	自家用 自動車	その他	無回答
単位：%						
全体 n=1,496	44.2	13.4	21.6	16.3	1.1	3.4
【居住地区別】						
本庁地区 n=316	56.3	13.0	22.2	5.1	1.6	1.9
芳野地区 n=41	2.4	22.0	7.3	63.4	0.0	4.9
古谷地区 n=58	6.9	29.3	19.0	36.2	1.7	6.9
南古谷地区 n=135	45.2	6.7	21.5	23.0	0.7	3.0
高階地区 n=189	63.0	0.0	29.1	4.2	0.0	3.7
福原地区 n=78	7.7	34.6	24.4	28.2	0.0	5.1
大東地区 n=139	44.6	8.6	28.1	15.1	0.7	2.9
霞ヶ関地区 n=175	56.6	5.1	24.6	11.4	1.1	1.1
川鶴地区 n=75	17.3	40.0	13.3	22.7	1.3	5.3
霞ヶ関北地区 n=48	62.5	6.3	20.8	8.3	0.0	2.1
名細地区 n=100	51.0	0.0	17.0	25.0	4.0	3.0
山田地区 n=77	2.6	48.1	13.0	32.5	1.3	2.6

(3) 川越市の将来像

◇「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」が32.8%

**問3 あなたは、川越市をどのようなまちにしたら良いと思いますか。
次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)**

川越市をどのようなまちにしたら良いと思うかについては、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」が32.8%で最も高く、次いで「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」が27.9%、「歴史的遺産を活かした観光のまち」が22.5%、「子育てのしやすいまち」が19.5%となっている。

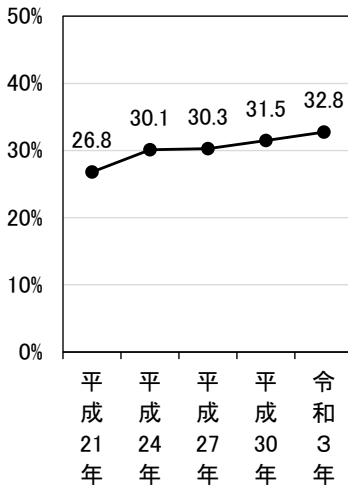


■時系列での比較（上位6項目）

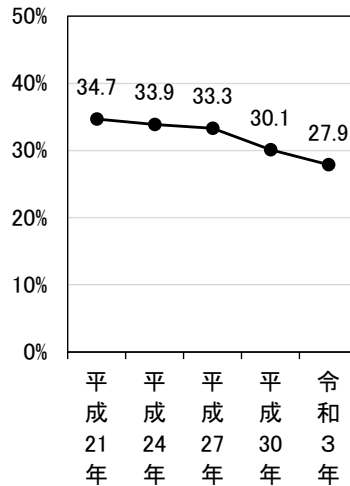
上位6項目を時系列でみると、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」、「子育てのしやすいまち」は増加傾向である一方、「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は減少傾向となっている。

また、「歴史的遺産を活かした観光のまち」は平成30年まで増加傾向であったものの、令和3年には減少傾向に転じている。

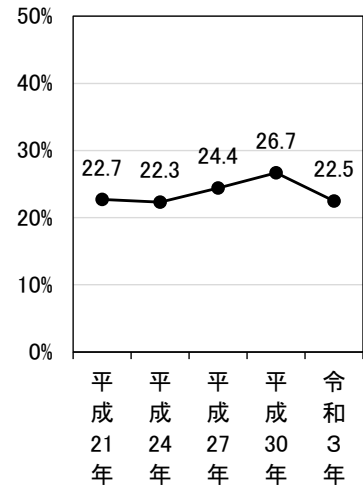
交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち



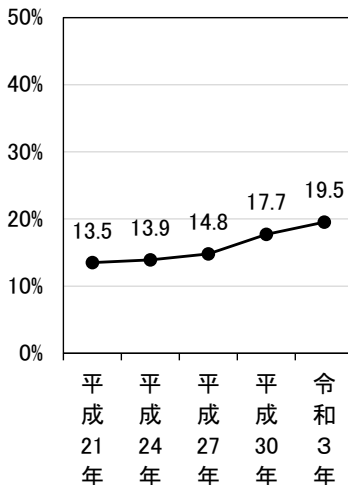
子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち



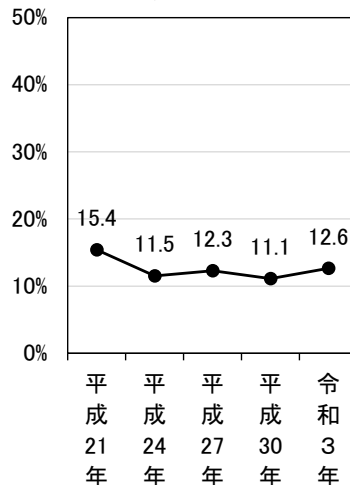
歴史的遺産を活かした観光のまち



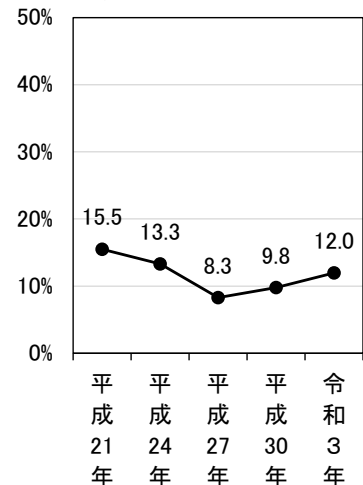
子育てのしやすいまち



公園や広場などが多い
おいしいまち



緑の保全・育成に力を注ぐ
自然豊かなまち



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」は男性20歳代で4割半ばと高くなっている。「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は、女性は年代が高くなるほど増加傾向となり、女性70歳以上で5割となっている。「子育てのしやすいまち」は、男性、女性ともに30歳代が最も高くなっている。

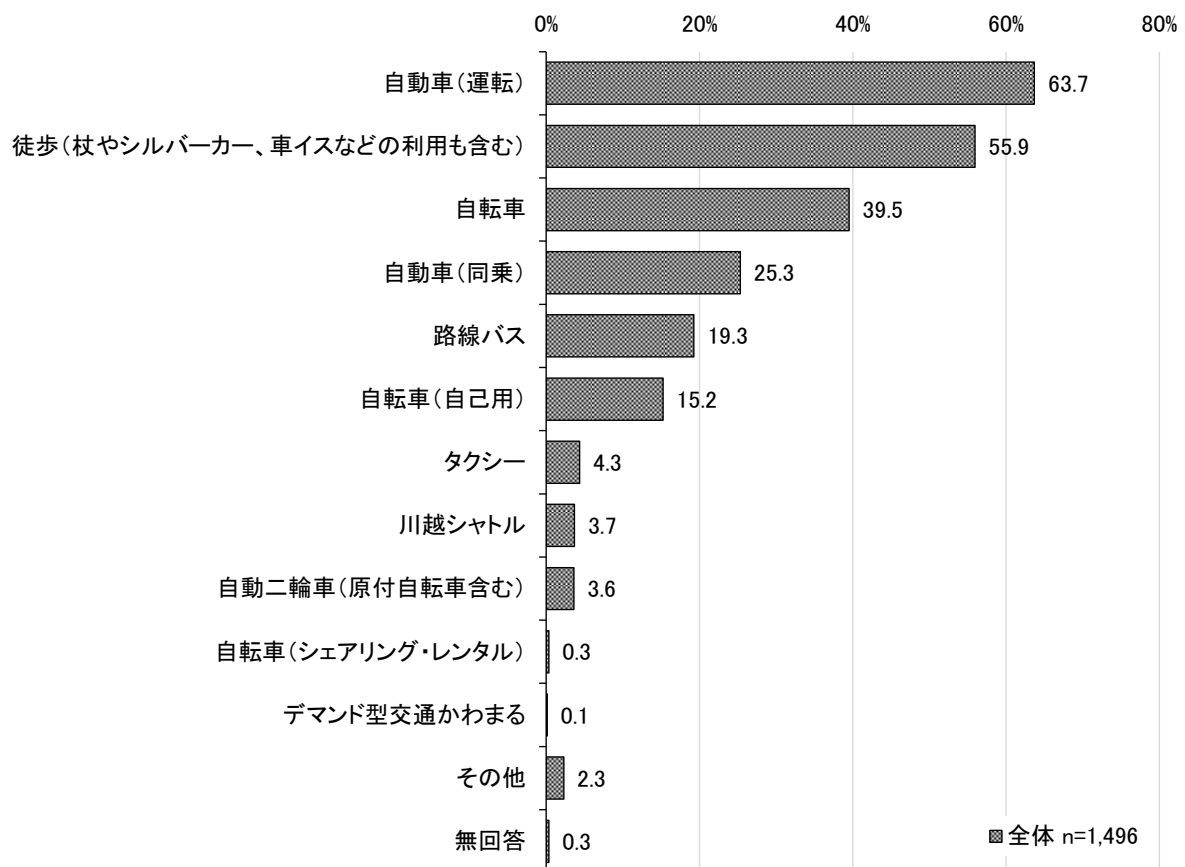
	交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち	子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち	歴史的遺産を活かした観光のまち	子育てのしやすいまち	公園や広場などが多いうるおいのあるまち	緑の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち
単位：%						
全体 n=1,496	32.8	27.9	22.5	19.5	12.6	12.0
【性別・年代別】						
男性 n=593	31.7	22.6	24.1	15.3	12.3	11.1
男性_18・19歳 n=4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
男性_20歳代 n=67	44.8	11.9	32.8	16.4	11.9	10.4
男性_30歳代 n=85	23.5	17.6	22.4	38.8	11.8	7.1
男性_40歳代 n=121	32.2	25.6	24.8	24.0	12.4	8.3
男性_50歳代 n=95	33.7	21.1	15.8	6.3	8.4	10.5
男性_60歳代 n=101	39.6	21.8	27.7	5.0	15.8	14.9
男性_70歳以上 n=118	21.2	31.4	23.7	5.9	13.6	15.3
女性 n=874	33.5	31.4	21.5	22.5	12.4	12.7
女性_18・19歳 n=13	23.1	7.7	38.5	15.4	15.4	46.2
女性_20歳代 n=109	36.7	22.0	22.9	30.3	12.8	10.1
女性_30歳代 n=160	33.8	15.6	24.4	54.4	13.1	8.1
女性_40歳代 n=171	36.3	26.3	21.6	24.0	14.0	12.3
女性_50歳代 n=110	36.4	33.6	27.3	10.0	9.1	10.9
女性_60歳代 n=137	28.5	40.9	21.9	9.5	13.9	14.6
女性_70歳以上 n=172	32.0	50.0	12.2	5.8	10.5	16.3

(4) 普段よく利用する移動手段

◇「自動車（運転）」が63.7%

問4 あなたが普段よく利用する移動手段は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。（3つまで）

普段よく利用する移動手段については、「自動車（運転）」が63.7%で最も高く、次いで「徒歩（杖やシルバーカー、車イスなどの利用も含む）」が55.9%、「自転車」が39.5%、「自動車（同乗）」が25.3%となっている。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「自動車（運転）」は男性70歳以上で8割近くである一方、女性70歳以上では4割となっている。「路線バス」は、男性、女性ともに70歳以上が最も高くなっている。

	自動車 (運転)	徒歩(杖やシ ルパーカー、 車イスなどの 利用も含む)	自転車	自動車 (同乗)	路線バス	自転車 (自己用)
単位: %						
全体 n=1,496	63.7	55.9	39.5	25.3	19.3	15.2
【性別・年代別】						
男性 n=593	75.5	57.3	39.1	14.3	17.7	16.7
男性_18・19歳 n=4	25.0	75.0	75.0	75.0	25.0	25.0
男性_20歳代 n=67	50.7	59.7	44.8	25.4	16.4	13.4
男性_30歳代 n=85	74.1	54.1	42.4	17.6	10.6	16.5
男性_40歳代 n=121	81.8	55.4	33.1	13.2	7.4	14.9
男性_50歳代 n=95	77.9	56.8	26.3	11.6	22.1	13.7
男性_60歳代 n=101	83.2	57.4	44.6	9.9	18.8	14.9
男性_70歳以上 n=118	78.0	59.3	44.1	11.0	29.7	23.7
女性 n=874	55.7	55.0	39.2	32.8	20.4	14.3
女性_18・19歳 n=13	15.4	69.2	76.9	46.2	23.1	15.4
女性_20歳代 n=109	42.2	68.8	45.0	41.3	19.3	7.3
女性_30歳代 n=160	60.6	55.6	36.9	35.0	15.0	9.4
女性_40歳代 n=171	72.5	47.4	37.4	26.3	18.1	12.9
女性_50歳代 n=110	65.5	54.5	32.7	26.4	15.5	20.0
女性_60歳代 n=137	56.2	57.7	33.6	35.0	26.3	15.3
女性_70歳以上 n=172	40.1	50.6	44.8	33.7	26.7	20.3

(5) 交通手段の利用状況・利用意向

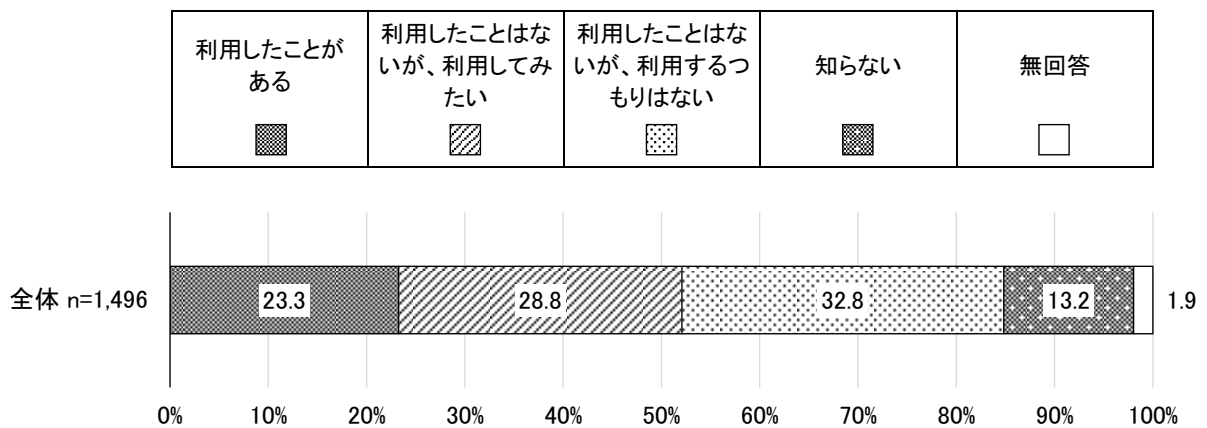
- ◇川越シャトル：「利用したことがある」が23.3%
- ◇デマンド型交通かわまる：「利用したことがある」が0.3%
- ◇川越市自転車シェアリング：「利用したことがある」が2.2%

問5 次の交通手段の利用状況や利用意向について、教えてください。

※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

①川越シャトル

川越シャトルの利用状況等については、「利用したことはないが、利用するつもりはない」が32.8%で最も高く、次いで「利用したことはないが、利用してみたい」が28.8%、「利用したことがある」が23.3%、「知らない」が13.2%となっている。



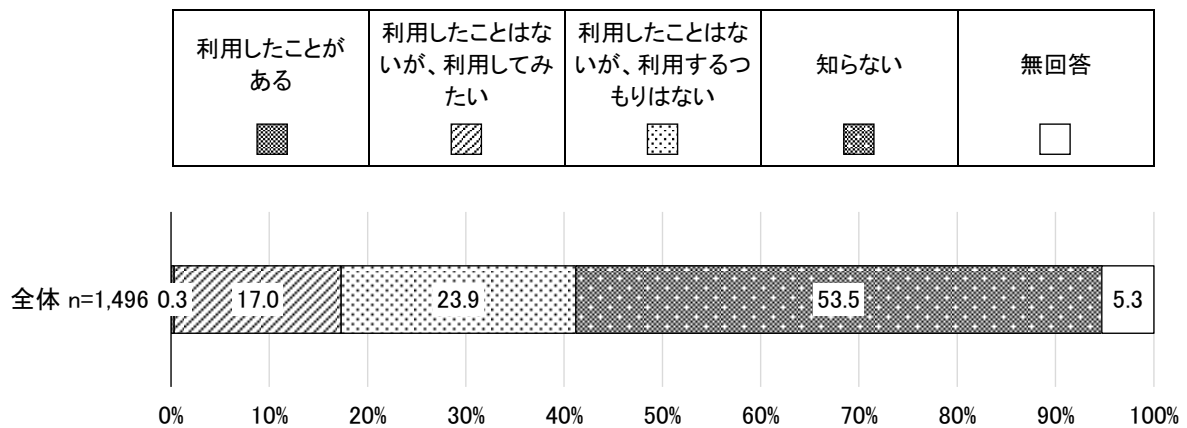
■居住地区別

居住地区別で見ると、「利用したことがある」では、『大東地区』が33.8%で最も高く、次いで『高階地区』が32.8%、『古谷地区』が27.6%となっている。

単位: %	利用したことがある	利用したことはないが、利用してみたい	利用したことはないが、利用するつもりはない	知らない	無回答
全体 n=1,496	23.3	28.8	32.8	13.2	1.9
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	25.0	30.1	32.6	11.1	1.3
芳野地区 n=41	12.2	26.8	48.8	12.2	0.0
古谷地区 n=58	27.6	27.6	29.3	10.3	5.2
南古谷地区 n=135	18.5	25.2	38.5	17.0	0.7
高階地区 n=189	32.8	22.8	32.8	10.6	1.1
福原地区 n=78	11.5	35.9	37.2	14.1	1.3
大東地区 n=139	33.8	29.5	24.5	10.1	2.2
霞ヶ関地区 n=175	14.9	29.1	36.6	18.3	1.1
川鶴地区 n=75	20.0	36.0	22.7	18.7	2.7
霞ヶ関北地区 n=48	22.9	31.3	29.2	12.5	4.2
名細地区 n=100	27.0	27.0	30.0	12.0	4.0
山田地区 n=77	14.3	28.6	46.8	9.1	1.3

②デマンド型交通かわまる

デマンド型交通かわまるの利用状況等については、「知らない」が53.5%で最も高く、次いで「利用したことはないが、利用してみたい」が23.9%、「利用したことはないが、利用するつもりはない」が17.0%、「利用したことがある」が0.3%となっている。



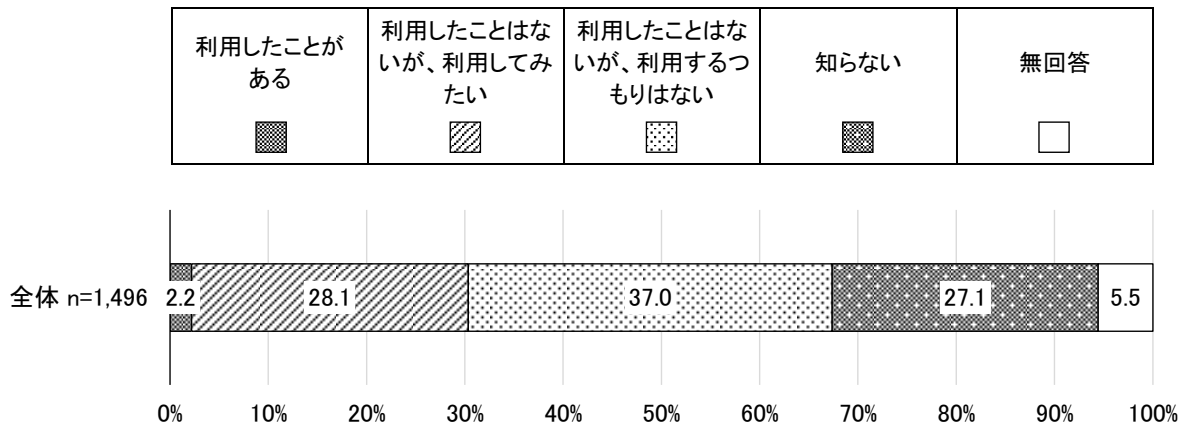
■居住地区別

居住地区別でみると、「知らない」では、『本庁地区』が63.6%で最も高く、次いで『川鶴地区』が58.7%、『福原地区』が53.8%となっている。

単位: %	利用したことがある	利用したことはないが、利用してみたい	利用したことはないが、利用するつもりはない	知らない	無回答
全体 n=1,496	0.3	17.0	23.9	53.5	5.3
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	0.3	11.7	21.5	63.6	2.8
芳野地区 n=41	0.0	19.5	26.8	51.2	2.4
古谷地区 n=58	0.0	17.2	29.3	43.1	10.3
南古谷地区 n=135	0.7	20.0	21.5	52.6	5.2
高階地区 n=189	0.0	19.0	24.3	53.4	3.2
福原地区 n=78	0.0	20.5	21.8	53.8	3.8
大東地区 n=139	0.0	19.4	28.1	44.6	7.9
霞ヶ関地区 n=175	0.6	16.6	26.9	49.1	6.9
川鶴地区 n=75	1.3	14.7	20.0	58.7	5.3
霞ヶ関北地区 n=48	0.0	25.0	22.9	47.9	4.2
名細地区 n=100	1.0	21.0	26.0	47.0	5.0
山田地区 n=77	0.0	16.9	32.5	40.3	10.4

③川越市自転車シェアリング

川越市自転車シェアリングの利用状況等については、「利用したことはないが、利用するつもりはない」が37.0%で最も高く、次いで「利用したことはないが、利用してみたい」が28.1%、「知らない」が27.1%、「利用したことがある」が2.2%となっている。



■居住地区別

居住地区別でみると、「知らない」では、『川鶴地区』が48.0%で最も高く、次いで『福原地区』が38.5%、『霞ヶ関地区』が36.6%となっている。

単位: %	利用したことがある	利用したことはないが、利用してみたい	利用したことはないが、利用するつもりはない	知らない	無回答
全体 n=1,496	2.2	28.1	37.0	27.1	5.5
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	4.4	32.0	45.3	15.8	2.5
芳野地区 n=41	0.0	34.1	48.8	14.6	2.4
古谷地区 n=58	5.2	31.0	27.6	17.2	19.0
南古谷地区 n=135	0.7	27.4	38.5	29.6	3.7
高階地区 n=189	2.6	29.6	34.9	29.6	3.2
福原地区 n=78	2.6	23.1	33.3	38.5	2.6
大東地区 n=139	2.2	28.8	39.6	20.9	8.6
霞ヶ関地区 n=175	1.1	25.1	30.3	36.6	6.9
川鶴地区 n=75	0.0	17.3	29.3	48.0	5.3
霞ヶ関北地区 n=48	0.0	29.2	33.3	31.3	6.3
名細地区 n=100	1.0	25.0	35.0	32.0	7.0
山田地区 n=77	1.3	35.1	39.0	14.3	10.4

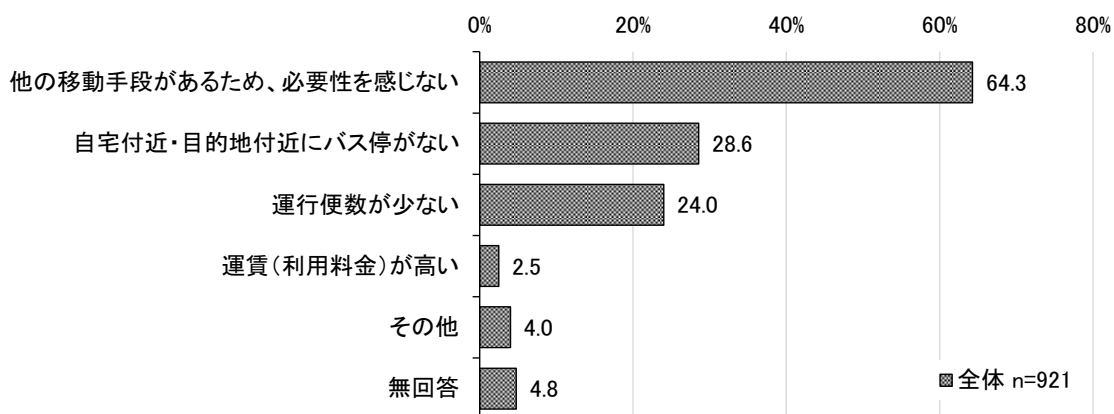
(6) 川越シャトルを利用したことがない理由

◇「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が64.3%

【問5の①で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

問5-1 川越シャトルを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

川越シャトルを利用したことがない理由については、「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が64.3%で最も高く、次いで「自宅付近・目的地付近にバス停がない」が28.6%、「運行便数が少ない」が24.0%、「運賃(利用料金)が高い」が2.5%となっている。



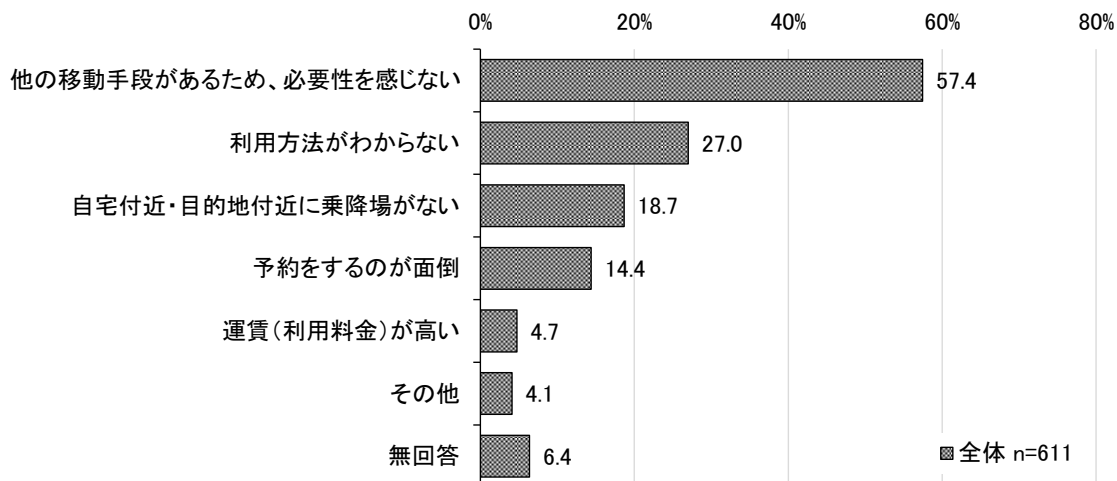
(7) デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由

◇「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が57.4%

【問5の②で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

問5-2 デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由については、「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が57.4%で最も高く、次いで「利用方法がわからない」が27.0%、「自宅付近・目的地付近に乗降場がない」が18.7%、「予約をするのが面倒」が14.4%となっている。



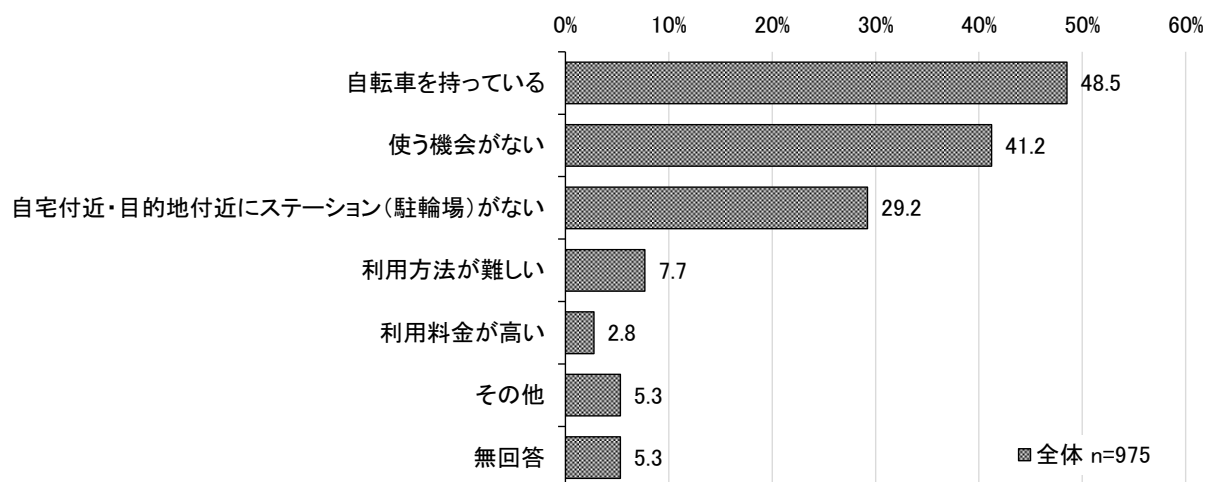
(8) 川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由

◇「自転車を持っている」が48.5%

【問5の③で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

問5-3 川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由については、「自転車を持っている」が48.5%で最も高く、次いで「使う機会がない」が41.2%、「自宅付近・目的地付近にステーション(駐輪場)がない」が29.2%、「利用方法が難しい」が7.7%となっている。

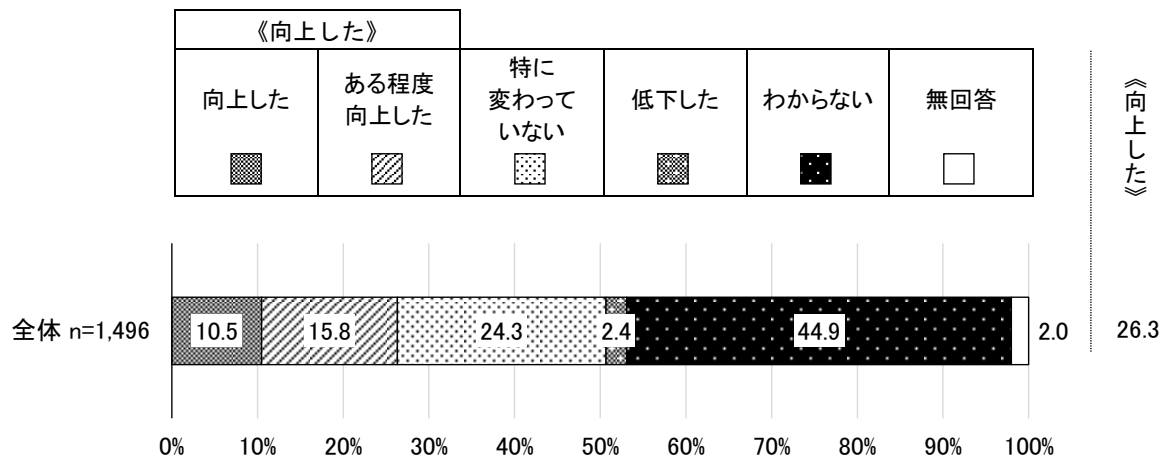


(9) 川越市の歴史的風致の向上

◇ 《向上した》が26.3%

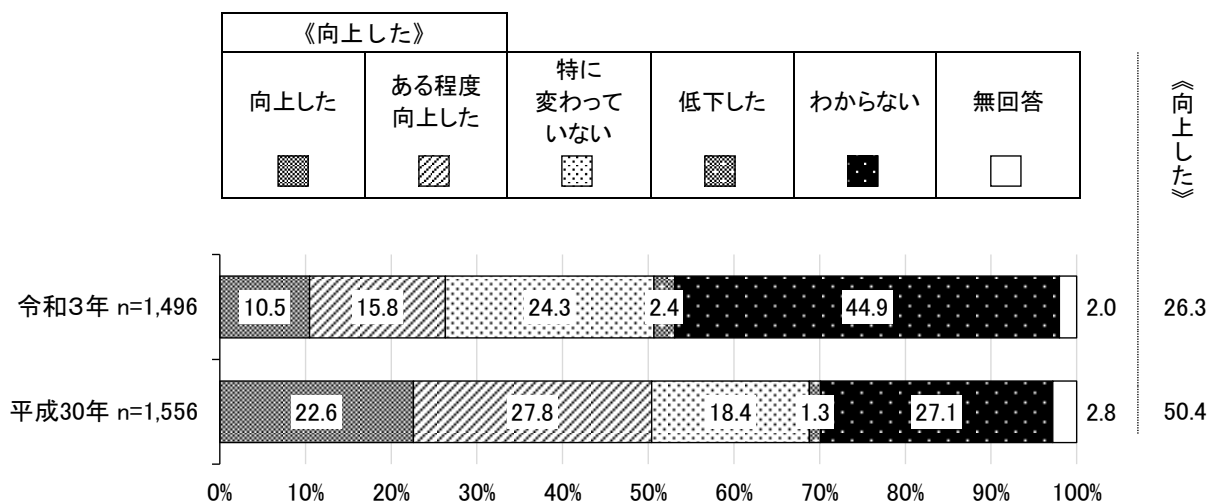
問6 あなたは、この10年間で川越市の歴史的風致（歴史的な建造物や歴史・伝統を反映した人々の活動等）が向上したと思いますか。（1つのみ）

この10年間で川越市の歴史的風致が向上したと思うかについては、「向上した」、「ある程度向上した」の合計値《向上した》が26.3%となっている。一方で、「特に変わっていない」は24.3%、「低下した」は2.4%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《向上した》は前回調査より24.1ポイント減少している。



(10) 歴史的風致の向上した点

◇「歴史的な町並みがマスメディアで紹介される頻度の増加」が70.6%

【問6で「向上した」「ある程度向上した」と回答した方におたずねします。】

問6-1 どのような点でそのように感じますか。(いくつでも)

向上したと感じる点については、「歴史的な町並みがマスメディアで紹介される頻度の増加」が70.6%で最も高く、次いで「歴史的な町並みを散策する観光客の増加」が67.3%、「歴史的建造物の修理や復原による町並みの整備」が48.2%、「歴史的建造物を活用した店舗の増加」が42.4%となっている。

